



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社  
 コード番号 9962 URL <https://www.misumi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) CFO 兼 コーポレートサービス  
 プラットフォーム上席執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大野 龍隆

(氏名) 高波 徹

TEL 03-5805-7401

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	70,481	△10.8	4,159	△28.9	4,124	△28.7	3,046	△29.3
2020年3月期第1四半期	79,042	△7.5	5,845	△35.3	5,783	△36.8	4,311	△33.9

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 3,091百万円 (373.1%) 2020年3月期第1四半期 653百万円 (△89.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.73	10.70
2020年3月期第1四半期	15.20	15.16

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	259,187	212,871	81.3
2020年3月期	264,684	211,630	79.2

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 210,603百万円 2020年3月期 209,514百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.51	—	7.04	14.55
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		5.20	—	7.93	13.13

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	141,000	△10.3	8,300	△29.3	8,100	△30.0	5,900	△30.7	20.78
通期	300,000	△4.3	20,900	△11.6	20,500	△11.8	14,900	△9.7	52.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	284,030,397 株	2020年3月期	284,028,197 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	129,618 株	2020年3月期	129,616 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	283,899,725 株	2020年3月期1Q	283,639,946 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、製造業では稼働の減少や設備投資の低迷が続き、大変厳しい状況となりました。中国では製造業に回復傾向が見られたものの、その他地域の景況は総じて前四半期に対して大きく悪化し、また、主要国における自動車関連の需要低迷も継続しました。日本においては生産用機器の輸出減により需要が大きく減少するなどの影響も見られました。

こうした環境の中においても、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業に貢献しています。当第1四半期においては、これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、新型コロナウイルスの影響が続いている中でも、世界の顧客に対して安定供給を継続し短納期ニーズに対応しました。しかしながら、製造業の稼働減少や設備投資の低迷が継続した影響により、売上高、利益ともに前年比減少となりました。

この結果、連結売上高は704億8千1百万円（前年同期比10.8%減）となりました。利益面につきましては、売上減による収益の減少、および持続成長に不可欠な先行投資を厳選した上で継続したことなどにより、営業利益は41億5千9百万円（前年同期比28.9%減）、経常利益は41億2千4百万円（前年同期比28.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億4千6百万円（前年同期比29.3%減）となりました。

## ・報告セグメントの業績

## ①FA事業

FA事業は、中国を除く主要地域、とりわけ日本の稼働減少や設備投資の低迷が続いたことにより、売上高は237億5千5百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益については、販売減少などによる影響があったものの、収益改善効果により、31億7千2百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

## ②金型部品事業

金型部品事業は、グローバルで自動車関連の市況低迷が続いていることにより、売上高は148億9千5百万円（前年同期比20.7%減）、営業利益については、販売減少の影響が大きく、2億2千1百万円（前年同期比79.4%減）となりました。

## ③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品、製造副資材、MRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。当第1四半期は、中国を除く主要地域での景況悪化により、売上高は318億3千1百万円（前年同期比9.2%減）、営業利益については、販売減少の影響により、7億6千4百万円（前年同期比53.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ54億9千7百万円(△2.1%)減少し、2,591億8千7百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が46億4千5百万円(△2.6%)減少したこと、および有形固定資産が3億9百万円(△0.7%)減少したこと、無形固定資産が4億8千4百万円(△1.5%)減少したことによるものです。

総負債は、前連結会計年度末と比べ67億3千8百万円(△12.7%)減少し、463億1千6百万円となりました。この主な要因は、未払金が38億3千4百万円(△38.5%)減少したこと、支払手形及び買掛金が15億8千3百万円(△9.1%)減少したことなどにより、流動負債が65億6千8百万円(△16.2%)減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ12億4千万円(0.6%)増加し、2,128億7千1百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加などにより株主資本が10億5千万円(0.5%)増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度の79.2%から81.3%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ36億4千4百万円増加し、480億8千4百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、34億6千5百万円の純収入となりました(前年同期は38億5千9百万円の純収入)。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が41億2千4百万円、減価償却費が36億3千3百万円、売上債権の減少額が44億3千1百万円、たな卸資産の増加額が18億9千6百万円、仕入債務の減少額が17億3千2百万円、法人税等の支払額が25億2千8百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、25億4千5百万円の純収入となりました(前年同期は7億7千3百万円の純支出)。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が41億6千5百万円、定期預金の預入による支出が5億2千5百万円、定期預金の払戻しによる収入が74億2千7百万円、敷金及び保証金の差入による支出が2億1千1百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、25億1千6百万円の純支出となりました(前年同期は34億5千8百万円の純支出)。この主な内訳は、配当金の支払額が19億9千8百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、本日(2020年7月30日)公表いたしました「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,646	48,318
受取手形及び売掛金	63,178	59,323
商品及び製品	46,506	48,288
仕掛品	2,391	2,297
原材料及び貯蔵品	6,280	6,641
その他	6,633	7,190
貸倒引当金	△242	△309
流動資産合計	176,395	171,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,469	14,004
機械装置及び運搬具（純額）	15,344	15,129
土地	4,249	4,252
その他（純額）	13,440	11,807
有形固定資産合計	45,503	45,194
無形固定資産		
ソフトウェア	25,734	25,491
その他	6,600	6,358
無形固定資産合計	32,334	31,849
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
その他	10,651	10,595
貸倒引当金	△206	△208
投資その他の資産合計	10,451	10,393
固定資産合計	88,289	87,437
資産合計	264,684	259,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,448	15,864
未払金	9,961	6,127
未払法人税等	2,658	1,154
賞与引当金	2,463	1,536
役員賞与引当金	30	7
その他	8,029	9,332
流動負債合計	40,592	34,023
固定負債		
退職給付に係る負債	6,008	6,203
その他	6,454	6,089
固定負債合計	12,462	12,292
負債合計	53,054	46,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,231	13,232
資本剰余金	23,586	23,588
利益剰余金	177,317	178,365
自己株式	△78	△78
株主資本合計	214,057	215,107
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,455	△4,420
退職給付に係る調整累計額	△88	△84
その他の包括利益累計額合計	△4,543	△4,504
新株予約権	1,560	1,711
非支配株主持分	555	555
純資産合計	211,630	212,871
負債純資産合計	264,684	259,187

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	79,042	70,481
売上原価	45,514	40,778
売上総利益	33,527	29,703
販売費及び一般管理費	27,682	25,543
営業利益	5,845	4,159
営業外収益		
受取利息	68	77
雑収入	74	93
営業外収益合計	142	170
営業外費用		
売上割引	19	16
為替差損	134	128
雑損失	51	60
営業外費用合計	205	205
経常利益	5,783	4,124
税金等調整前四半期純利益	5,783	4,124
法人税等	1,458	1,066
四半期純利益	4,324	3,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,311	3,046



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,324	3,058
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,676	32
退職給付に係る調整額	3	4
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△2
その他の包括利益合計	△3,670	33
四半期包括利益	653	3,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	657	3,085
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,783	4,124
減価償却費	3,007	3,633
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	194	192
賞与引当金の増減額(△は減少)	△848	△926
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	68
受取利息及び受取配当金	△68	△77
支払利息	26	14
株式報酬費用	144	152
為替差損益(△は益)	△56	23
持分法による投資損益(△は益)	△15	△6
売上債権の増減額(△は増加)	1,334	4,431
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,635	△1,896
未収消費税等の増減額(△は増加)	△413	△150
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,346	△1,732
未払金の増減額(△は減少)	△612	△1,467
その他の資産の増減額(△は増加)	214	△1,232
その他の負債の増減額(△は減少)	13	678
小計	5,730	5,805
利息及び配当金の受取額	75	86
利息の支払額	△26	△14
法人税等の還付額	—	115
法人税等の支払額	△1,920	△2,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,859	3,465
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△5,775	△4,165
固定資産の売却による収入	5	0
定期預金の預入による支出	△2,723	△525
定期預金の払戻による収入	7,889	7,427
敷金及び保証金の差入による支出	△200	△211
敷金及び保証金の回収による収入	30	40
その他	△0	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△773	2,545
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	0	2
配当金の支払額	△3,117	△1,998
リース債務の返済による支出	△341	△520
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,458	△2,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,060	151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,432	3,644
現金及び現金同等物の期首残高	41,753	44,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,320	48,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大は、製造業の設備投資需要や顧客の稼働に影響を与えておりますが、グローバル製造業の景況は2021年3月期の第1四半期を底に、下期に向けて緩やかに回復するものと仮定し、たな卸資産の評価、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は新型コロナウイルス感染拡大など、さらなる事業環境の悪化を想定していないことに加え、感染拡大の収束時期等、様々な要因に大きく影響を受けるため、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,189	18,779	35,072	79,042	—	79,042
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	25,189	18,779	35,072	79,042	—	79,042
セグメント利益	3,108	1,076	1,660	5,845	—	5,845
のれん等償却前セグメント利益※	3,108	1,229	1,660	5,998	—	5,998

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,755	14,895	31,831	70,481	—	70,481
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	23,755	14,895	31,831	70,481	—	70,481
セグメント利益	3,172	221	764	4,159	—	4,159
のれん等償却前セグメント利益※	3,172	372	764	4,310	—	4,310

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

## (補足情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 地域に関する情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
41,124	14,023	11,186	7,057	4,182	1,467	79,042

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
15,788	8,616	8,208	3,125	8,168	43,907

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 地域に関する情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
35,847	14,449	9,590	5,960	3,247	1,386	70,481

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
16,753	7,722	7,401	4,907	8,410	45,194